

公表日

2026年3月20日

事業所名

こぼんはうさくら 新松戸教室

保護者等数(児童数) 45名

回収数 41件(割合91%)

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	36	2		3	実際に活動している様子を見たことがないのでわからない 狭いようにも感じる	面談時、活動の様子を ご覧いただけるようにする
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	39			2	十分な人数の先生がいると思います。 ほほ、マンツーマンでありがたい(午前)	午前は、2対1以上の職員で 支援にあたっています。午後は 3対1以上の職員を配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている と思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリア フリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思います か。	39			2	明るい雰囲気のある教室と感じます。 階段が暗く急と感じます	階段は手すりをもって、必ず職員が安全 を確かめながらお子様に付き添っていま す。印象が暗い為、1日中、照明をつけて おくようしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いま すか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いま すか。	40			1	清潔な印象です。	さらに、安心して過ごしていただける よう、配色や遊具の配置などの調整をして まいります。
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性の ある支援が受けられていると思いますか。	40		1		子どものことをわかっているつもりでも 先生の視点になるほどと思うことがたく さんある。	保育士・児童指導員・OT・ST・PT が常勤であり、専門性を活かしたチームで の集団療育を目指しています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援 内容と合っていると思いますか。	39		1	1	いろいろなプログラムがあって楽しそう	発達にあったプログラムを 工夫しております。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が 客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が 作成されていると思いますか。	37	2	1	1	面談時、しっかりと時間をかけて お話ができます。子どものことをよく見 ていただいていると感じます。	面談の日程調整がご希望に添えず、 ご迷惑をおかけすることがありますが、計 画の作成は指導員と児発管で常に話し合い 課題の分析を行っております。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達 支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行 支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に 選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いま すか。	38	1	1	1		お子さまにとっての適切な支援について 面談時にはできるだけ具体的に説明させ ていただきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	38		1	2		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると 思いますか。	37		1	3	お泊り会やクリスマス会や運動会など とても楽しく参加させていただきました	保護者の方のご協力あってのことと 感謝しております。ありがとうございます
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の こどもと活動する機会がありますか。	20		3	18		商店会や町内会に所属しており、 町内会のイベント参加など行っています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担 等について丁寧な説明がありましたか。	38	1	1	1		ご利用契約時は出来る限り丁寧な ご説明を心掛けてまいります。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	37		1	3		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・ トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等 が行われていますか。	37			4	子育て勉強会に毎年参加しています。 平日は仕事をしていて参加しにくい。	土日や次年度は、オンラインでの 勉強会等も検討させていただきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達 の状況について共通理解ができていると思いますか。	36	4	1		もっと活動の様子が知りたいと思う ことがあります。電話やlineなどで相談を することができます。	リズムではなかなか状況の共有が 十分ではないと感じておりますがなるべく 詳細をお伝えできるようにしていきたいと 思っています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	38	2	1		相談に乗っていただいています。 就学相談では大変お世話になりました。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	39	1	1		そう思います。 子育てを並走していただいている感があ ります。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士 の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。 また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士 の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていま すか。	34	2	1	4	父母会があり様々なイベントや情報発信 をしてもらえるので楽しみにしている。	今年度は兄弟児参加のイベント開催が なかなかできずにおりましたが来年度は機 会を増やします。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備され ているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があること について周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に 対応されていますか。	39		1	1		今年度は放課後等デイサービスへの 移行についての十分な説明ができず申し訳 ありません。体制の整備に努めてまいりま す。

保護者への説明等	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	39		2	LINEで連絡できるのは助かります。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	36	3	2	インスタの更新頻度が高いたい。LINEで写真をいただけるので様子がよくわかってありがたい。	なるべく頻回に更新できますよう改善してまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	39	1	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	35	1	5	訓練をしているかどうかはわかりませんが、災害時の引き取りカードなどが渡されていて安心できます。	各種マニュアルが策定されておりますが保護者様への周知が不十分でした。活動中の避難訓練などは定期的に行っております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	34	1	6		避難訓練は地震・火災・不審者・洪水と年4回以上行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	38	1	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	38	2	1	そう思います。些細なけがなどもしっかり報告していただきました。なったことがないのでわかりません。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	40		1	行きたくないといったことは1度もないです。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	39	1	1	毎日「きょうはごぼん？」と聞いてきます。とても楽しみにしているようです。	楽しみに通っていただくことが、よりよい支援の第一歩と考えております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	39	1	1	いつもありがとうございます。	至らない点も多々あるかと思いますが今後も満足していただける支援のために精進してまいりたいと思っております。

公表日

2026 年 3 月 20 日

事業所名

こぼんはうすさくら 新松戸教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	2	遊具や教具の数を調整し、安全に活動できるスペースを作っている。午前午後の2部制で少人数での支援を行っている	個別対応を行うスペースをつくっていく
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	2	午前午後共に、児童1～3人に対し1名の指導員を配置している	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	5	写真やイラストや文字で視覚的にもわかりやすく示している。	教室が階段使用で2階に所在。教室内は一部バリアフリーになっていい箇所がある。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	5	カーペットをクッションフロアに改修アレルギーを持つ児童にも安心な環境で活動を行っている。	照明の光が強め。カバーなど設置してみる。活動によってコーナー分けできる配置を工夫したい。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	9	個別の部屋は1か所。	安心して落ち着ける場所となるよう、配色など工夫する。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11	0	PDCAに基づき支援を進めている。	振り返りに十分な時間をかけられないことがある
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	保護者アンケートの結果をもとに改善策を話し合っている。毎年、貴重なご意見をもとに、改善に努めている	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1	すべての職員に対し、管理者が個別に意見を聞く時間を設けている。	職員によって感覚の差もあり、すぐに改善できないことも多い。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	6	第三者外部評価を行っている。	結果をもとにした小さな業務改善は行っているが、大幅な改善には至っていない。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	1	毎月職員研修を行っている。	月1回の研修では不十分と感じている。研修の機会を増やしていく。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0	公表している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	1	保護者のアセスメントをもとに、職員で話し合い、計画作成している。	客観的な分析が不十分と感じることがある
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0	保護者のアセスメントをもとに、職員で話し合い、計画作成している。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	4	共有不足の場合がある。	基本的には計画に沿っているが、具体的支援内容は状況に応じ変化していくことがある。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	6	標準化されたツールなどの利用はしていないが、児童の様子を指導員がそれぞれ観察し、カンファレンスを行い、統一して支援する内容を確認している。	アセスメントを自主的に見るよう周知し伝達もしている。個々の発達特性について、定期的に話し合う時間を作る。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	2	ガイドラインに沿って、各ねらいを定め職員にも毎回共有している。日々の療育の様子も観察し、その時々にあった対応、支援の方法なども職員で常に話し合い、支援内容について具体的に設定している。	職員にも周知するとともに、わかりやすい言葉で表現し、職員が自分自身で読んで理解できるよう作成する。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	0	指導員同士で意見を出し合い作成を行っている。	曜日や各児童の発達特性を考えてプログラムを立案し、必要な児童が支援を受けられるように予定表を作成する。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0	過去のプログラムを確認しながら、固定化しないよう配慮している。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	2	集団活動の中で個別対応、発達別対応をするよう、同じプログラムでも児童に合わせた活動内容を計画している。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	2	朝礼でねらいなども話し合い、その日の児童の特記事項などに触れながら確認し、連携を図っている。	早めに計画し、その日の活動の目的とねらいを打ち合わせ、シミュレーションなどで検討する。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	2	こまめに共有が行われている。また、休みの職員にも周知できるよう、連絡用のノートに記入している。	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0	5領域に沿った記録用紙に記入し、日々の支援につなげている。	常に日々の記録だけでなく、個々の課題について共通認識できるような話しあい周知する。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	1	定期的にモニタリングを行い、計画を見直している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0	会議の前に職員間で様子などを共有し、指導員が児発管とともに参加するようにしている	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	3	必要な方は幼稚園、保育所、障害福祉の関係機関との連携を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	2	地域のいくつかの幼稚園や保育園とは保護者を介して情報の共有と相互理解のための訪問などを行っている。	十分な時間が取れず、継続的に移行に向けた支援が不足している部分がある。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	8	直接、就学先と情報共有することはない。保護者を通じて、情報をお伝えすることはある。	小学校との連携が難しい。(相談員がついている一部の児童のみ)
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9	2	発達支援センターとも連携を取り必要に応じて助言や研修等を受ける機会を作っている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	11	地域の祭りなどに参加しているが、地域のほかの子供同士のかかわりはない。	プライバシーの問題などで難しい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	3	保護者へ常に児童の様子をお伝えし、発達状況や課題点、メンタル部分など共有し、支援と一緒に考えながら進めている。	働く保護者も増え、お伝えが難しいことがある。LINEやオンライン電話なども利用していく。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	0	子育てに関する家族支援プログラムを計画し、ご参加いただいている。ペア・プロの講師資格を職員が取得	現在は年に6回ほどの開催だが、今後は機会を増やしたい。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	1	契約時にご説明し、変更があれば改めご説明する機会を設けている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	3	面談時にご意向を伺うようにしている。また、定期的にアンケートを取るなど、ニーズを伺う機会を作っている。	面談だけでなく、日頃から保護者と職員のコミュニケーションを取り、伝達周知する。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	4	半期ごとに面談を実施し、その際にご説明し、同意を得ている。	対面面談を実施し、保護者の要望や困りごと、強みを一緒に考え、必要な支援につなげ、保護者の不安に寄り添う。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0	面談時だけでなく、個別相談やお電話でお話を伺っている。	いつでも助言と支援ができるよう、関わり方について話しあいを持つようにする。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11	0	懇談会、子育て勉強会、母の集まりなど定期的に開催している。親子行事も季節ごとに計画し、家族で参加できる行事を開催している。	保護者様運営の会が2年を迎えるため、今後も職員も耳を傾ける場として参加し、必要な支援を探っていく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	2		苦情時の対応をどの職員もできるよう、研修やケースごとに考え、速やかかつ適格に対応するスキルを教室全体で上げる。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	4	教室便りを定期的に発行するとともに、SNSで普段の活動の様子を発信している。	Instagramでの発信頻度を多くしていく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0	職員全体で気を付けている。個人情報、鍵付き書庫に保管している。	定期的に職員に周知し、個人情報に関わるものの取り扱いを徹底する。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	3	障害特性についても常に話し合い、保護者の抱える悩みも周知しながら、意思疎通を図るための配慮をしている。	障害特性の理解を深めると共に、保護者の要望を職員に周知し、全体で共有していく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	11	利用者様の特性を踏まえ、はじめての方との交流を怖がるなども見られるため、積極的にはしていない。	事業所内で行っている子育てプログラムを地域の方も参加できるなど、計画していきたい。

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	4	各マニュアルは策定し面談室に常時ファイリングして置いている。契約時に緊急時の対策などもお伝えし、カード等でお配りしている。	保護者様への発信を契約時だけでなく、面談時、訓練を実施したことをお手紙やSNS等で発信していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0	策定し、定期的に各避難訓練を行っている。	BCPの内容の理解が深まるよう、今後も必要な研修、訓練を定期的に行う。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	0	予防接種や服薬、てんかんなどはアセスメントに記入していただくとともに、面談時に確認し、更新している。	契約時初めに行う現況の聞き取りで把握し常に新しい情報に更新し、新たな状況が出た場合、周知する。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	0	アレルギーの原因物質、程度、症状など面談時に確認し、医師の指示も確認し周知しているが、今年度は指示書が出るほど多量に発生をきたしている。	新入職の職員にも入職した際に行うようにする。また、定期的なEpiPenの使い方や通報訓練等をする。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	6	安全計画に則り研修訓練を行っている。また、教室内の安全管理もしている。	安全計画を毎年更新し、研修訓練を行う。安全計画に基づいた管理を日々心掛ける。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	4	緊急連絡カードなどで共有している。	更新があった場合は職員、保護者に周知していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0	事案の大小にかかわらず、再発防止のために事案を検討し職員全体で共有している。	ヒヤリハットが合った場合、全職員に周知し、改善点を共有し再発防止に努める。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0	虐待研修が行われている。	虐待犬種だけでなく、日頃の支援で虐待につながりそうな行為を検証し、防止に努める。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11	0	身体拘束について、研修で考えている。身体拘束が必要と思われる児童がいないため、まだ説明をしたことはない。	身体拘束について保護者の同意書を得る。